

「安曇野つなぐプロジェクト」

新型コロナウイルス感染症拡大による不要不急の外出自粛要請を受け、飲食店・宿泊事業者を中心に大打撃を受けた。改めて今回のコロナ禍は、国、地域、人など「つながり」によって、社会生活が成り立ち、経済が循環していることを示した。第2波、第3波が懸念されている中、「新たな生活様式」の実行により感染予防に努めながら、一日も早い日常を取り戻す必要がある。

これまでの「つながり」を大事にしながら、新たな「つながり」を築き上げ、市内に活気を取り戻し、経済の活性化を図るため「安曇野つなぐプロジェクト」を実施する。

「安全・安心」+α「心安らぐおもてなし」で、安曇野版「新たな日常」モデルの構築を目指す

- ・ 継続的な取り組みによる中小事業者等の感染防止対策の強化と第2波、第3波への備え
- ・ 市民の市内飲食店、小売店等へ利用回帰や、3密を避けた新たな観光誘客による市内経済活動の循環促進
- ・ 国、県の需要喚起策の活用による市内経済活動の早期回復

つなぐ①

安曇野と安曇野ファン

「安全・安心・安らぐ 3安のまち安曇野」をPRし、安曇野と安曇野ファンをつなぎ、新たなファンを獲得する。

市民と市内事業者

新たな生活様式を取り入れながら、市民と市内事業者が「つながり」経済活性化を図る。

つなぐ②

安曇野つなぐプロジェクト

つなぐ③

事業者と事業者

新型コロナウイルス感染症による新たな課題（新たなビジネス）に対し異業種間で「つながり」課題解決を図る。

市民（事業者）と行政等

市・市商工会・市観光協会が連携し、市民生活を守り、事業者の事業継続を支援する。

つなぐ④

安曇野 さんあん 3安宣言

「安全・安心」 長野県の「新型コロナ対策推進宣言の店」制度を活用し、市内事業所等の感染症拡大防止対策を推進する。

「心安らぐおもてなし」 感染拡大防止対策をしつつ、市内飲食店、小売店等へ市民・来訪者の利用回帰を図る。

地域一体となった取り組みとして「3安のまち安曇野」を宣言し市内外へ発信する。



プロジェクトの取り組み

3 安宣言の推進

- ①長野県「新型コロナ対策推進宣言の店」制度の取り組みを推進する。
- ②市内事業者の「新たな生活様式」への取り組みに「新型コロナウイルス拡大防止対策協力金」を交付する。（6月補正）
- ③協力金交付に合わせてプロジェクトの「ステッカー・ポスター」を配布し周知を図る。

つなぐ① 安曇野と 安曇野ファン

- ①「安曇野あんしん旅」 自転車など3密を回避した旅行提案による観光誘客を行う。（観光協会）
- ②「宿泊施設応援券」の発行（6月補正）
- ③②と共に3安宣言を推進し、プロジェクトのステッカー等配布することで受入体制の充実を図る。
- ④Instagramや動画等での情報発信 「安曇野あんしん旅」の情報発信
- ⑤誘客イベントの検討 新そばと食の感謝祭以降のイベント手法について検討

つなぐ② 市民と事業者

- ①「プレミアム商品券」の発行（6月補正）
- ②①と共にプロジェクトのステッカー等を配布し、3安宣言を推進し受入体制の充実を図る。
- ③「コロナウイルスに負けないぞ!!応援飲食券」（市商工会）
- ④テイクアウトの活用推進とSNS等を活用した情報発信
- ⑤クラウドファンディングの活用等、第2波、第3波に備えた事業者支援体制の検討

つなぐ③ 事業者と事業者

- ①（一社）あづみ野産業振興支援センターの活用 感染防止対策用品等の域内調達など事業者間連携強化支援
- ②ソーシャルビジネス立ち上げ支援 泊食分離やテイクアウト配達代行など
- ③事業者間の情報共有化 感染拡大防止対策の向上策などの共有

つなぐ④ 市民（事業者） と行政等

- ①事業者の経営相談や、事業継続のための資金調達支援
- ②各種経済対策や観光誘客
- ③各種関係団体との調整・連携

【想定される各種団体】

安曇野で暮らすように泊まる実行委員会、安曇野市調理師会、安曇野市タクシー協議会、Support the 安曇野（飲食店支援市民有志）、安曇野の良さを伝え隊、北アルプス山小屋友交会 など

取り組みの SNS等での発信

- ①ハッシュタグ「#安曇野つなぐプロジェクト」をつけ、市ツイッター、観光協会SNS等で取り組みを発信する。
- ②経済対策以外の「つなぐ」取り組みについてもハッシュタグを活用する。
【例】ふるさと観光大使・スポーツ大使からの情報発信②善意のマスク受付 など